

ぱるん通信

トピックス

- ★ 病児・病後児保育支援試行制度のご紹介
- ★ 次世代育成サポーターステップアップ講座のご案内
- ★ 休日勤務の際の託児支援について ほか



病児・病後児保育支援試行制度を活用ください

岩手大学では、2013年4月より病児・病後児保育支援試行制度を実施しています。

子どもが病気の場合は「子の看護休暇」(右記参照)をご利用いただくことが原則ですが、講義や会議など業務上のやむを得ない事情で仕事を休めず、病児・病後児保育サービスを利用せざるを得ないケースもあります。そのような場合に、0歳～10歳(小学校3年)の子どもを対象に保育費用を補助しています。

病児・病後児保育サービスには、自宅にベビーシッターを派遣してもらう「派遣型」と病院や保育所等が運営している施設に子どもを預ける「施設型」がありますが、2014年12月から「施設型」の病児・病後児保育サービスを利用した際にも、保育費用の全額を補助しています。

本制度をご利用された方の声をご紹介します。

利用がかさみがちな病児保育の補助はありがたいと思い登録しました。子どもと病気は切っても切れないものですが、熱を上げたからと言って急に仕事を休めない現実。ましてや何度も、となると頭を抱えてしまいます。

「病児の場合は親が休む」という本制度の前提は、現時点ではまだ広く浸透していないと思いますが、制度の整備、利用の普及後に意識改革が広がるとも言われます。本制度が働く親を後押しする一歩として、今後さらにより良い制度に発展していくことを期待しています。(農学部共同獣医学科・小林沙織助教)

私の息子の場合、最初の1ヶ月間、保育園への登園率は約50%でした。

病気のとて、我が家では、施設型の病児保育をよく利用しています。大学の支援制度は、通常通りの病児保育の利用に加えて、簡単な書類を用意するだけで利用でき、経済的な負担を軽減できます。さらに、担当の方々がか丁寧に対応してくださるので、子育て世代には力強い味方だと感じています。

(工学部・山中克久准教授)



子の看護休暇制度

中学校就学前のお子さんの看護に年10日を上限に取得できます。

- 小学生1人→1年に5日まで
- 小学生2人以上→同10日まで
- 小学校就学前のお子さんがある場合→同10日まで
- 時間単位でも取得できます。
- 健康診断・予防接種等の際にも取得できます。

休日勤務の際の託児支援

男女共同参画推進室では、仕事と生活との両立を支援する取り組みの一つとして、休日勤務の際の託児支援(オープンキャンパス時の集団保育、センター入試時の託児費用補助)を行っています。

10月17日(土)のオープンキャンパスでは、次世代育成サポーター2名も参加し、お預かりしたお子さんと一緒に遊んでくれました。支援した次世代育成サポーターの声をご紹介します。

塗り絵や粘土、積み木、パズルなど、自分も小さい頃こんな遊びをしていたなと思いながら一緒に遊びました。子どもは成長に応じて遊び方が変化していくので、その子に合わせた遊び方を提案することが大事だと感じました。(教育学部1年 K.M.)



センター試験時には騒音等の問題から「ぱるんひろば」での集団保育ができないため、教職員の自宅での保育にかかる費用を補助しています。詳細については後日、お知らせします。

ご協力をお願いします

学内保育所設置に係るニーズ調査

近年、仕事と子育ての両立支援は、大学を含めた事業所が取り組むべき方策と考えられるようになり、事業所内保育所の設置にも関心が高まっているところです。

本学においても、近年の社会的要請や学内の状況から、学内保育所設置のための調査が認められその一環として、このたび「学内保育所設置に係るニーズ調査」を下記の要領で実施します。

皆さまの率直なご意見をお寄せください。

対象：全学教職員

期間：2016年1月4日(月)～2016年1月15日(金)

調査方法：web調査

(無記名、回収後は直ちに統計処理します)

問い合わせ：男女共同参画推進室



次世代育成サポーターステップアップ講座開催

男女共同参画推進室では、昨年度に引き続いて、次世代育成サポーターのスキルアップなどを目的に「次世代育成サポーターステップアップ講座」を開催します。今年度のテーマは「留学生の子育て支援」です。

近年、留学生の子育てに関する相談が多く寄せられていることを受け、留学生が置かれた環境を理解し、困りごとを適切に理解するための知識を得て、次世代育成サポーターを活用した子育て支援の更なる活用をめざすものです。

関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時 2015年12月19日(土) 9:00～10:30
- 場所 学生センターA棟2階 会議室
- 内容
 - ・女性研究者による報告
 - 「日本で海外で子育てと研究を両立すること」
 - 農学部特任研究員 Fekih Ep Laribi Rym さん
 - 日本学術振興RPD(岩手大学配属) 宮崎珠子さん
 - ・グループワーク
 - 「あったらいいな、こんな支援。そして、私たちにできること」
- 対象 次世代育成に関心のある教職員、次世代育成サポーター
- 託児 ご相談ください。
- 申込 12月15日(火)までに男女共同参画推進室へメールでお申し込みください。

ご協力をありがとうございました

「ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成のためのニーズに係るアンケート調査2015」について

男女共同参画推進室では、2015年9月14日から10月5日まで本学教職員を対象とした「ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成のためのニーズに係るアンケート」を実施しました。

アンケートには217名(女性248名、男性458名、無回答7名)の皆さまにご協力をいただきました。ありがとうございました。結果概要は、下記のとおりです。

・女性研究者支援事業『いわての復興に貢献する女性研究者支援』は6割が「知っている」と回答。また「知っている」と答えた方の7割が、事業によって女性研究者支援が「進んだと思う」「どちらかと言えば進んだと思う」と回答。女性研究者支援事業の認知と理解が進んだ傾向を示す結果であった。

・岩手大学男女共同参画行動計画及び第2期中期目標及び年度計画・行動計画の取組については66.4%が「知っている」と回答。2012年(35.0%)と比較して認知度が高まったことを示す結果であった。

アンケート結果は後日、公表します。

関連企画

「ぱるんひろば friends 第2回交流会」のご案内

「ぱるんひろばfriends」は、ぱるんひろば利用者で構成された利用者相互の親睦を図るための自主的な会です。

このたび、関連企画として「ぱるんひろばfriends第2回交流会」を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

○日時 2015年12月19日(土) 10:45～13:00

○場所 学内保育スペース「ぱるんひろば」

○内容 親子での体験活動・おしゃべりタイム

○参加費 一人100円(おやつ代)

○申込 12月15日(火)までに男女共同参画推進室へお申込みください。



ぱるん ひろばのお知らせ

ワーク・ライフ・バランス相談と定期開放日
毎週金曜日 10時～13時

ぱるんひろば利用・登録説明会(12・1月分)
12月11日(金)、1月15日(金)
いずれも12時10分～12時50分

ぱるんひろば利用状況(2015年9月～12月)

項目	5月	6月	7月	8月
ぱるんひろば保育利用	13件	24件	23件	12件
ワーク・ライフ・バランス相談	3件	4件	4件	0件



WLB 相談員(社会福祉士・介護支援専門員)がお届けする介護のお話

ほっと♡かいご【連載⑧】介護と仕事の両立～冬の間、一人暮らしの親が心配

ワーク・ライフ・バランス相談にいらしたAさん。介護と仕事の両立で頭を抱えているようです。

「実家の父は要介護2の認定を受けていて、一人暮らしをしています。私は近くに住んでいないため、冬は特に心配です。冬期間だけでも、父が安心・安全に生活できるようにしたいのですが…」

この場合は、施設に短期間だけ入所(宿泊)して、食事や入浴といった生活援助サービスや、機能訓練を受けられる「ショートステイ」というサービスがあります。担当の介護支援専門員(ケアマネージャー)にケアプランを作成してもらい、入所の申込みをしましょう。

ポイント

○ショートステイは「要支援」「要介護」のを受けた方が利用できますが、要介護度や他のサービスの利用状況によって介護保険制度で利用できる日数が決まります。「月に何日利用できるか」を、介護支援専門員に確認しましょう。

○冬の間だけ、県外や他の市町村に住むご家族のもとで暮らす場合でも、介護保険サービスは利用できます。介護支援専門員に相談し、一時期暮らす地域の地域包括支援センターを通じてサービス事業所を紹介してもらうことも可能です。